

計算書類に対する注記 社会福祉法人 一れつ会（法人全体用）

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

- ①資産の評価基準及び評価方法
 - ・棚卸資産—最終仕入原価法（原価法）
- ②固定資産の減価償却方法
 - ・有形固定資産一定額法
 - ・無形固定資産一定額法
- ③引当金の計上基準
 - ・退職給付引当金—広島県民間社会福祉事業従事者互助会の掛金累計額を計上する。
 - ・賞与引当金—職員に給付する賞与のうち、当該会計年度の負担に属する額を計上する。
 - ・徴収不能引当金—金銭債権のうち、徴収不能のおそれがあるものは、当該徴収不能の見込み額を計上する。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

独立行政法人 福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度に加入している。
掛金は「退職給付費用」の科目で費用処理している。

広島県民間社会福祉事業従事者互助会
掛金は「退職給付引当資産」の科目で資産に計上している。

5. 法人が作成する計算書類等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- ・法人全体の計算書類（会計基準省令第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式）
- ・事業区分（会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式）
- ・拠点区分（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）
- ・サービス区分（別紙3(Ⅹ)(Ⅺ)）
- ・財産目録（別紙4）

社会福祉事業のみであるので 第1号2様式、第2号2様式、第3号2様式は省略する。

各拠点区分におけるサービス区分

- (1) 法人本部（社会福祉事業）
 - 法人本部
 - 特別会計
 - グループホーム新設
 - 生活困窮者等宿泊施設
 - 日本語教室
 - 職員育成事業
 - 放課後児童クラブ
 - 設備修繕
- (2) せんだんの家（社会福祉事業）
 - せんだんの家生活介護
 - せんだんの家就労継続支援B型
- (3) いこいの家（社会福祉事業）
 - いこいの家生活介護
 - いこいの家施設入所
 - いこいの家短期入所
 - いこいの家日中一時
 - ウイズ就労継続支援A型
 - 和らぎ居宅介護
 - 和らぎ重度訪問介護
 - 和らぎ行動援護
 - 和らぎ移動支援
 - いずみ共同生活援助
 - 相談支援ほっと一般相談

- 相談支援ほっと特定相談
- 相談支援ほっと障害児相談
- (4) ほほえみ (社会福祉事業)
- ほほえみ生活介護
- (5) しんふおにい (社会福祉事業)
- しんふおにい生活介護
- しんふおにい就労継続支援B型
- しんふおにい日中一時
- (6) 春日寮 (社会福祉事業)
- 春日寮生活介護
- 春日寮施設入所
- かすが短期入所
- かすが日中一時
- (7) 青葉 (社会福祉事業)
- 青葉生活介護
- 青葉自立訓練 (生活型)
- 青葉就労移行
- 青葉就労継続支援B型

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	492,651,569			492,651,569
建物	1,171,147,317	46,029,493	45,462,613	1,171,714,197
合計	1,663,798,886	46,029,493	45,462,613	1,664,365,766

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地 (いこいの家)	15,060,500 円
土地 (ウイズ)	39,076,267 円
土地 (ほほえみ)	11,764,000 円
土地 (法人本部)	13,906,000 円
建物 (ウイズ)	59,431,444 円
建物 (コミュニティホーム加茂)	16,550,474 円
建物 (ほほえみ)	82,229,828 円
建物 (春日寮)	329,494,375 円
建物 (青葉)	139,501,391 円
建物 (法人本部棟)	146,130,414 円
計	853,144,693 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金 (ほほえみ)	3,380,000 円
設備資金借入金 (春日寮)	40,600,000 円
設備資金借入金 (青葉)	14,770,000 円
計	58,750,000 円

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地 (基本財産)	492,651,569		492,651,569
建物 (基本財産)	1,972,838,793	801,124,596	1,171,714,197
建物 (その他の固定資産)	76,771,367	11,797,145	64,974,222

構築物	9,699,384	6,434,247	3,265,137
機械及び装置	192,409,767	175,733,446	16,676,321
車輛運搬具	91,025,408	79,290,138	11,735,270
器具及び備品	84,114,880	71,913,456	12,201,424
ソフトウェア	5,940,000	2,431,062	3,508,938
その他の固定資産	865,760		865,760
合計	2,926,316,928	1,148,724,090	1,777,592,838

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
該当なし			
合計	0	0	0

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当なし			
合計	0	0	0

12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。

(単位：円)

種類	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の兼務等	事業上の関係				

該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし